



## 「環境にあわせたバックアップ」

AREX社員に聞いてみました。「佐藤君って、どんな人？」



真面目で何事にも真摯に取り組んでいるように思います。

仕事を早く覚えようとしているのがわかります。

真面目で誠実そうな蕎麦好きな人だと思います。

人の話を聞き、気を使えて、芯がある男だと感じる。

真面目です。今のところ……。トリマーだけに猫をかぶっているかもしれません。

何事も一生懸命な人だと思います。

おい！

優しい、気遣いのできる人です。

続くといいわねえ～。

【差出人・返還先】

株式会社 **アレックス**

住所 宇都宮市岩曾町1120-3  
TEL 028-601-9055  
FAX 028-601-9056  
HP <http://www.arex.ne.jp/>

職場も  
愉快だ  
宇都宮  
UTSUNOMIYA

# 使用環境に合わせたバックアップをしよう！

データをバックアップする・・・バックアップと言っても、どのようにバックアップするかによって、いくつもパターンがあります。今回は、おすすめのバックアップ方法をご紹介します。使用するパソコンやソフト等に合わせて、適切なバックアップを取りましょう！

## ① 外付けハードディスクなどに「手動で」バックアップする！

一番シンプルなバックアップ方法です。単純にパソコンに外付けハードディスクやUSBメモリを接続して、バックアップしたいデータをコピーします。その際、バックアップ先に「2017年〇月×日のバックアップ」などの名前を付けたフォルダを作成して、その中にデータをコピーすることで、いつのデータなのか分かりやすくなります。(データ量が多くなり過ぎたら、古いデータから削除していく等します。)

## ② ①と違い、「自動で」バックアップする！

①の作業を自動的に行うことができるバックアップソフトを使う方法です。エクセル、ワードなどのデータだけバックアップしたり、Windowsを丸ごとバックアップ (Windowsが起動しない時に、バックアップした時点の状態に戻す機能) したりと、ソフトによりますが、様々な方法・機能でバックアップができます。



有料で有名なものとしてはAcronisというソフトがあります。まさに環境に合わせたバックアップ設定ができます。

## ③ 別な場所にバックアップする！

最近、問い合わせの多い“クラウド”にバックアップをしたり、別な場所にあるネットワークハードディスクにバックアップする方法です。パソコンが倒れたりしてデータが消えてしまう危険があっても、違う場所にデータがあれば安心です。



クラウドを利用すれば、データのバックアップはもちろん、パソコン自体が起動しなくなってしまった際に、別の端末でデータを見ることができます。ただし、クラウドはその場にデータがないため、ダウンロードするのに時間が掛かったりします。



共有フォルダのように、別なハードディスク (ネットワークHDD) にバックアップしておくのも便利です。社内にデータがあれば読み込みも速い！

## ④ 2重にバックアップする！

バックアップは1つだけではなく、「バックアップのバックアップ」を取るぐらい慎重でも良いかと思います。ウイルス対策 (バックアップしたデータまで消えてしまう等) としても有効です。



単にPCから2台の機器にバックアップをしたり、バックアップ先のHDDの後にHDDを接続してバックアップ取る。しかしこの場合、バックアップ先が2台ともダメになる可能性はゼロではありません。



サーバーには誰もアクセスできず、他の機器のデータを集めるだけに設定する。

通常、PCと外付けHDD等は双方向にデータをやり取りしますので、もしウイルスに感染すると、どちらもやられてしまいます。そこで、データを取り込むが、他の機器からはデータを書き込めない“サーバー”を用意してバックアップを一括保存するという考え方がこちらです。